ウラン・ウデ

ツィレノワ・ディミーダ

http://lanatravels.ru/ulan-ude-stolicza-buryatii

私の町

私は「ソスノヴォ・オジョルスク」という町で生まれたが、学校を卒業して、家族とブリヤートの首都の「ウラン・ウデ」に引っ越しした。1666 年 5 月 23 日にブリヤートの首都になった。1666 年から 1934 年まで「ヴェルフノウディンスク」と呼ばれたが、1934 年から「ウラン・ウデ」になった。ブリヤートの別名は「晴れたブリヤート」で、これは年の中で日当たりが多いブリヤートであるという意味だ。ウラン・ウデの面積は約 36 万㎢で、人口は約 50 万人である。

ロシアは 85 の地域に分けられるが、ウラン・ウデは極東にある。私から見ると、この地域の中でブリヤートは非常にきれいな自然の町である。ブリヤートの西側は世界の中で一番深いバイカル湖という湖に面している。そして、ウラン・ウデは様々な山脈に囲まれている。東京からウラジオストクまで飛行機で 2 時半かかる。ウラジオストクに着いて、乗り換えて、ウラン・ウデまでは 5 時半である。またはモスクワからウラン・ウデまで 5 時間ぐらいかかる。

ウラン・ウデは盆地にあるから、ウラン・ウデの夏は暑くて、冬は寒い。冬は 10 月から 3 月にかけているが、晴れた日が多くて、雪が降る日も多く、風は強く吹かない。夏は非常に短いのに、暑くて、33 度を超える日も多くて、よく雨が降る。

https://present-dv.ru/obraz/ostrov-olhon-serdtse-baykala-474

ブリヤート人の物語

すべての人々がロシアは寒くて、大きい国だと知っているはずだと思う。ロシアは 85 の地域に分けられている。私から見ると、この地域の中でブリヤートは非常にきれいな自然の共和国である。思い出深い景色以外、ブリヤートには珍しい物語や面白い伝統や昔から今まで残った習慣などがある。これはブリヤート人にとって非常に重要なものである。

ブリヤートの西側は世界の中で一番深いバイカル湖という湖に面している。バイカル湖とバイカル湖から流れている「アンガラ」という川について面白い物語がある。ブリヤート人はこの物語を教えることが大好きである。今から私の好きな物語を説明したいと思う。まず、ブリヤート人の現れることについて説明する。

バイカル湖で最大で、最初のブリヤート人が生まれたところはオルホンという島だと考えられている。バイカル湖ですべての島の中でオルホンにしか人々は住んでいない。オルホンについて非常に多くの神話などがある。この物語の中で最もロマンチックなのは、ホリ・ブリヤート人が現れたことについての物語である。

ホリ・ブリヤート人の祖先であるホリドイという男の人はオルホンに住んでいた。ある日、彼はバイカル湖の岸で羽を脱いだ白鳥を三羽見た。白鳥は羽を投げ落として、美人に変身した。ホリドイはそんなに美しい女の人が好きになって、一羽の羽を盗んだ。ホン・シュブーンという女の人だった。ホン・シュブーンはホリドイの奥さんになって、娘を 6 人と息子を 11 人産んだ。この 11 人の息子たちからホリ・ブリヤート人の歴史が始まったそうである。

しかし、ホン・シュブーンは大好きな奥さんで、お母さんだったが、いつも心から空の家に帰りたいと思っていた。女の人は年をとった時、ご主人に羽を返してほしいと頼んだ。ホリドイはホン・シュブーンに羽をあげなかったが、少し考えて、あげた。ホン・シュブーンは羽をつけて、きれいな白鳥になって、家族を残して、空に飛んで行った。

このようにして、物語が終わる。そしてホン・シュブーンの子孫はこの日の事件を大切にして、白鳥の群れが飛ぶとき、空に牛乳やお茶を振りかけている。

http://asiarussia.ru/blogs/15275

ウラン・ウデの現在と将来

ウラン・ウデは小さくて、若い町である。今たったの 354 歳である。1666 年 5 月 23 日にブリヤート共和国の首都になった。1666 年から 1934 年まで「ヴェルフノウディンスク」と呼ばれたが、1934 年から「ウラン・ウデ」になった。

2020 年にはウラン・ウデの人口が増えているが、2000 年から 2009 年までは減ってきた。そして、2010 年から今まで人口はゆっくりと増加している。今、ウラン・ウデには 50 万ぐらい人が住んでいる。ウラン・ウデが進歩したら、将来も人口が増えると思う。ウラン・ウデが最も大きくて、面白い名物や町のいいサービスがある町になってほしいが、すぐに変化することは難しく、時間やお金などの必要がある。

ブリヤートはロシアの地域だから、ここには多くのロシア人が住んでいる。ウラン・ウデのブリヤート人は人口の 30 パーセントしかいない。それ以外はロシア人のようである。

私はブリヤート語の問題は最も難しい問題だと思う。あいにく年々ブリヤート語で話せる人が少なくなっているそうである。老人はほとんどみんなブリヤート語ができるが、ウラン・ウデに住んでいる若者はブリヤート語ではよく話せない、または全然話せない 。田舎に住んでいる若者はできるが、学校を卒業して、大学の勉強のためにウラン・ウデに引越ししてから、ブリヤート語で全然話さないで、母国語を忘れる。他の理由はウラン・ウデのすべての大学と学校で授業は全部ロシア語で習うことだと思う。大学で全然ブリヤート語を学ばない。学校の場合は一週間に 2 回だけである。

どうやってこの問題を解決したらいいだろう。私から見ると、一番の有効な方法は大学でブリヤート語で授業や会議や講義などを行うことである。そして、学校で母国語の授業を増やすことである。そうすれば、ブリヤート語で話せる人が多くなるはずである。

http://asiarussia.ru/blogs/15275